

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員			
◎岡村典子、山岸美奈子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 15時間
	【担当教員】 【氏名】 ◎岡村 典子 山岸 美奈子 実務経験のある教員が担当します。	【研究室】 216 共同研究室5
【本学の科目区分】 専門科目		
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程		
【D P 1】 <input type="radio"/> 【D P 2】 <input checked="" type="radio"/> 【D P 3】 <input type="radio"/> 【D P 4】 <input type="radio"/> 【D P 5】 <input type="radio"/> 【D P 6】 <input type="radio"/> 【D P 7】 <input type="radio"/>		

到達目標	看護援助とは何かを考えるとともに、看護援助を実践するための基本的考え方、および看護実践能力の基盤となる対象と援助関係を形成するための基礎知識を身につける。	
授業概要	主として講義により、「看護援助とは」、「看護援助の必須条件」、「援助関係の形成過程」など、看護援助を実践するために必要な知識について学ぶ。また、講義・演習を通して、看護実践能力の基盤となる、対象と援助関係を形成するための知識・態度・方法、及びコミュニケーションの基本的スキルについて学修する。さらに、対人援助職として重要となる、自己理解・セルフケアについても学修する。	
授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学習課題：看護援助とは 学習内容：援助・援助関係とは 看護援助の概念 備考：岡村
	2	授業内容 授業形態：講義 学習課題：看護援助の必須条件 学習内容：安全・安楽・自立の概念 対象者の安楽を阻害する要因、自立援助の考え方 看護者の健康管理 備考：山岸
	3	授業内容 授業形態：講義 学習課題：援助関係の形成過程 学習内容：援助関係の形成過程 備考：岡村
	4	授業内容 授業形態：講義 学習課題：援助関係形成力とその構成要素 学習内容：援助関係形成力 援助関係形成力の構成要素（コミュニケーション能力、感情活用能力） 備考：岡村
	5-6	授業内容 授業形態：講義・演習 学習課題：コミュニケーションの基盤となるもの 学習内容：対人関係における基本的態度 自己・相手・状況を理解する必要性 備考：ゲストスピーカー、岡村
	7-8	授業内容 授業形態：講義・演習・グループワーク 学習課題：コミュニケーション場面の再構成 学習内容：コミュニケーション場面の振り返り 異和感の対処化 備考：岡村、山岸

事前・事後学習	事前学習：「援助とはなにか」について考える。 事後学習：援助関係において、なぜ自己理解とセルフケアが必要になるのか考えるとともに、コミュニケーションにおける自身の課題を明確にする。
評価方法、評価基準	到達目標に対し、下記の3点にて評価する。 1. 期末試験70%：期末試験として、目標達成度を最終的に評価する。 2. 課題20%：課題内容は、学習の進行に応じて講義時に説明する。 3. 学習態度10%：演習、グループワークに主体的・能動的に取り組んでいるかについて評価する。
必携図書	ハンドアウト資料を使用する。 課題学習においては自主的に文献探索を行う。
参考図書・資料等	必要時、講義時に提示する。
受講、課題、資料配布等のルール	授業は時間の中で順序立てて進めていくため、20分を超える遅刻や途中退出は欠席とみなし、遅刻3回で1時間分の欠席とする。なお、出席日数が規定に満たない学生は試験を受けることはできない。 学習課題の順番は変更する場合がある。
教員からのメッセージ	看護援助、そして援助関係に関する知識を身につけるとともに、自分の対人関係における傾向や、陥りやすい感じ方、考え方について知る機会となる授業です。
オフィスアワー	